

薬剤情報 No.34

令和6年6月17日(月)

1) 新規採用医薬品

なし

2) 仮採用医薬品

なし

3) 剤型・規格 変更/追加 医薬品

剤型変更追加・メーカー変更薬	既採用薬	備考
ロナブリーブ注射液セット 300	ロナブリーブ注射液セット 1332	
ルーラン錠 4mg	ルーラン錠 8mg	

4) メーカー変更医薬品・後発品変更医薬品

医薬品名	既採用薬	備考
ペントシリン注射用 2g	ピペラシリンナトリウム注射用 2g「日医工」	製造中止
スマトリブタン錠 50mg「アメル」	スマトリブタン錠 50mg「日医工」	製造中止
ハーセプチン注射用 60 (溶解液なし) ハーセプチン注射用 150 (溶解液なし)	ハーセプチン注射用 60 (溶解液付) ハーセプチン注射用 150 (溶解液付)	製造中止
シクロスポリンカプセル 25mg「サンド」 シクロスポリンカプセル 50 mg「サンド」	シクロスポリンカプセル 25mg「VTRS」 シクロスポリンカプセル 50 mg「VTRS」	豊岡病院採用薬
ガラントミン OD 錠 4mg「DSEP」 ガラントミン OD 錠 8 mg「DSEP」	レミニール OD 錠 4mg レミニール OD 錠 8 mg	
ソリフェナシンコハク酸塩 OD 錠 2.5mg「日医工」 ソリフェナシンコハク酸塩 OD 錠 5mg「日医工」	ベシケア OD 錠 2.5mg ベシケア OD 錠 5mg	

5) 院外限定採用医薬品(剤型追加)

医薬品名	効能・効果	用法・用量
プレマリン錠 0.625mg (結合型エストロゲン) 卵胞ホルモン製剤 薬価:28.40 円/1 錠 ファイザー	<効能効果> 卵巣欠落症状、卵巣機能不全症、更年期障害、膣炎(老人、小児および非特異性)、機能性子宮出血 <用法用量> 通常成人 1 日 0.625~1.25mg を経口投与する。機能性子宮出血又は膣炎に対しては、1 日 0.625~3.75mg を経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。 ※婦人科	

医薬品名	効能・効果	用法・用量	備考
フェルビナクテープ 70mg「久光」 アピドラ注ソロスター アスタット外用液 1% フェロ・グラデュメット錠 105mg イクスタンジ錠 40mg・80 mg	割愛		採用薬からの切り替え

6) 患者限定採用医薬品

医薬品名	効能・効果	用法・用量
<p>テイコブラニン点滴静注用 200mg「明治」 (テイコブラニン) グリコペプチド系抗生物質製剤 薬価:1,445 円/1 瓶 Meiji Seika ファルマ</p>	<p><適応菌種>本剤に感性のメチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA) <適応症>敗血症、深在性皮膚感染症、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、肺炎、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染 <用法用量>通常、成人には初日 400mg(力価)又は 800mg(力価)を 2 回に分け、以後 1 日 1 回 200mg(力価)又は 400mg(力価)を 30 分以上かけて点滴静注する。敗血症には、初日 800mg(力価)を 2 回に分け、以後 1 日 1 回 400mg(力価)を 30 分以上かけて点滴静注する。通常、乳児、幼児又は小児には 10mg(力価)/kg を 12 時間間隔で 3 回、以後 6~10mg(力価)/kg(敗血症などの重症感染症では 10mg(力価)/kg)を 24 時間ごとに 30 分以上かけて点滴静注する。また、新生児(低出生体重児を含む)には初回のみ 16mg(力価)/kg を、以後 8mg(力価)/kg を 24 時間ごとに 30 分以上かけて点滴静注する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。</p>	
<p>ベリキューボ錠 2.5mg (ベルイシグアト) 可溶性グアニル酸シクラーゼ刺激剤 薬価:130.50 円/1 錠 バイエル薬品</p>	<p><効能効果>慢性心不全ただし、慢性心不全の標準的な治療を受けている患者に限る。 <用法用量>通常、成人には 1 回 2.5mg を 1 日 1 回食後経口投与から開始し、2 週間間隔で 1 回投与量を 5mg 及び 10mg に段階的に増量する。なお、血圧等患者の状態に応じて適宜減量する。</p>	
<p>テセントリク点滴静注 1200mg (アテゾリズマブ(遺伝子組換え)) 抗 PD-L1 ヒト化モノクローナル抗体 薬価:563,917 円/1 瓶 中外製薬</p>	<p><効能効果・用法用量>●切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌○化学療法未治療の扁平上皮癌を除く切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌:他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人には 1 回 1200mg を 60 分かけて 3 週間間隔で点滴静注する。なお、初回投与の忍容性が良好であれば、2 回目以降の投与時間は 30 分間まで短縮できる。○化学療法未治療の PD-L1 陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌:通常、成人には 1 回 1200mg を 60 分かけて 3 週間間隔で点滴静注する。なお、初回投与の忍容性が良好であれば、2 回目以降の投与時間は 30 分間まで短縮できる。●PD-L1 陽性の非小細胞肺癌における術後補助療法:通常、成人には 1 回 1200mg を 60 分かけて 3 週間間隔で点滴静注する。投与期間は 12 カ月間までとする。なお、初回投与の忍容性が良好であれば、2 回目以降の投与時間は 30 分間まで短縮できる。●進展型小細胞肺癌:カルボプラチン及びエトポシドとの併用において、通常、成人には 1 回 1200mg を 60 分かけて 3 週間間隔で点滴静注する。なお、初回投与の忍容性が良好であれば、2 回目以降の投与時間は 30 分間まで短縮できる。●切除不能な肝細胞癌:ベバシズマブ(遺伝子組換え)との併用において、通常、成人には 1 回 1200mg を 60 分かけて 3 週間間隔で点滴静注する。なお、初回投与の忍容性が良好であれば、2 回目以降の投与時間は 30 分間まで短縮できる。</p>	
<p>アロカリス点滴静注 235mg (ホスネツピタント塩化物塩酸塩) 選択的 NK1 受容体拮抗型制吐剤 薬価:11,276 円/1 瓶 大鵬薬品</p>	<p><効能効果>抗悪性腫瘍剤(シスプラチン等)投与に伴う消化器症状(悪心、嘔吐)(遅発期を含む) <用法用量>他の制吐剤との併用において、通常、成人にはホスネツピタントとして 235mg を抗悪性腫瘍剤投与 1 日目に 1 回、点滴静注する。</p>	
<p>アイラミド配合懸濁性点眼液 (プリモニジン酒石酸塩・プリングラミド) α2 作動薬/炭酸脱水酵素阻害薬配合 緑内障・高眼圧症治療剤 薬価:441.70 円/mL 千寿製薬</p>	<p><効能効果>次の疾患で、他の緑内障治療薬が効果不十分な場合:緑内障、高眼圧症 <用法用量>1 回 1 滴、1 日 2 回点眼する。</p>	

ベビオゲル 2.5%	割愛
アイビーディカプセル 100	
リザベンカプセル 100mg	
ハイドレアカプセル 500mg	
シクロスポリンカプセル 10mg「サンド」	
デタントール 0.01%点眼液	

医薬品名	効能・効果	用法・用量	備考
プロスタルモン・F 注射液 1000	割愛		採用薬からの切り替え
ナファモスタットメシル酸塩注射用 50mg「AY」			
ベナンボックス注用 300mg			
ブイフェンド 200mg 静注用			

7) 削除医薬品

医薬品名	備考
ロナブリーブ注射液セット 1332	ロナブリーブ注射液セット 300 に変更
ルーラン錠 8mg	ルーラン錠 4mg に変更
ピペラシリンナトリウム注射用 2g「日医工」	製造中止、ペントシリン注射用 2g に変更
スマトリプタン錠 50mg「日医工」	製造中止、スマトリプタン錠 50mg「アメル」に変更
ハーセプチン注射用 60 (溶解液付)	製造中止、ハーセプチン注射用 60 (溶解液なし)に変更
ハーセプチン注射用 150 (溶解液付)	製造中止、ハーセプチン注射用 150 (溶解液なし)に変更
シクロスポリンカプセル 25mg「VTRS」	シクロスポリンカプセル 25mg「サンド」に変更
シクロスポリンカプセル 50 mg「VTRS」	シクロスポリンカプセル 50 mg「サンド」に変更
レミニール OD 錠 4mg	ガランタミン OD 錠 4mg「DSEP」に変更
レミニール OD 錠 8 mg	ガランタミン OD 錠 8 mg「DSEP」に変更
ベシケア OD 錠 2.5mg	ソリフェナシンコハク酸塩 OD 錠 2.5mg「日医工」に変更
ベシケア OD 錠 5mg	ソリフェナシンコハク酸塩 OD 錠 5mg「日医工」に変更
イノレット 30R 注	製造中止
リン酸コデイン散 1%「日医工」	製造中止
デトルシトールカプセル 2mg	製造中止
ベビオゲル 2.5%	対象患者なし
アイビーディカプセル 100	対象患者なし
リザベンカプセル 100mg	対象患者なし
ハイドレアカプセル 500mg	対象患者なし

8) がん化学療法レジメン追加について

BEV(d1)+Atezolizumab(d1) q3w (肝細胞癌)

9) その他

院内製剤 白糖加ポビドンヨードゲル 87.5g (組成:ポビドンヨードゲル 22.5g+白糖 50g+単シロップ 15g)

:ネグミンシュガー軟膏入手困難なため

「院外処方箋における疑義照会簡素化プロトコール」 拡大について

2020.6.10 に泌尿器科・皮膚科で開始となった 「院外処方箋における疑義照会簡素化プロトコール」 の運用を
2024.7 月を目途に全科に拡大します。

10) 効能効果等の改訂のお知らせ (2024.2~2024.5)

オルミエント錠 2mg、同錠 4mg	既存治療で効果不十分な多関節に活動性を有する若年性特発性関節炎に対する効能等追加 既存治療で効果不十分なアトピー性皮膚炎に対する2歳以上の小児の用法等追加
リフキシマ錠 200mg	肝性脳症における高アンモニア血症の改善に対する小児の用法等追加
5-FU 注 250mg、同注 1000mg	治癒切除不能な進行・再発の胃癌に対する効能等追加
フェソロデックス筋注 250mg	乳癌に対する用法等追加 同日付で承認取得したカピバセルチブとの併用療法
ジーラスタ皮下注 3.6mg	自家末梢血幹細胞移植のための造血幹細胞の末梢血中への動員に対する効能等追加

11) 禁忌・併用禁忌・使用上の注意の改訂のお知らせ (2024.2~2024.5)

ロンサーフ	【用法及び用量に関連する注意】治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌の項：他の抗悪性腫瘍剤との併用についてベバシズマブ以外の有効性及び安全性は確立していない旨に変更し、ベバシズマブとの併用に際しては、「臨床成績」の項の内容、特に用法及び用量を十分に理解した上で投与する旨を追記 等
カルベジロール ビソプロロール ビソノテブ	「妊婦又は妊娠している可能性のある女性」について【禁忌】から削除し、【特定の背景を有する患者に関する注意】に「治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること」等追記
サワシリン オーグメンチン	【重要な基本的注意】ショック等に関する注意喚起に「薬剤により誘発される胃腸炎症候群」追記 【重大な副作用】「薬剤により誘発される胃腸炎症候群」追記
ボノサップ、ボノピオン、	【重要な基本的注意】アモキシシリン水和物の項：ショック等に関する注意喚起に「薬剤により誘発される胃腸炎症候群」追記 【重大な副作用】アモキシシリン水和物の項：「薬剤により誘発される胃腸炎症候群」追記
イグザレルト	【禁忌】「ポサコナゾールを投与中の患者」追記 【併用禁忌】「ポサコナゾール」追記

12) 院内副作用報告 (2024.2~2024.5)

【当院処方事例のみ記載】

タゾピペ注	皮疹
セファゾリン Na 注	頸部・胸腹部・下肢全面の膨隆疹
バンコマイシン注	全身紅潮、搔痒
バクタ	全身発赤、発熱
セレコキシブ	悪心・嘔吐